



失敗を恐れない挑戦で成長 チャレンジで業界を変える

- ・業界未経験者歓迎
- ・若手社員が活躍
- ・地域社会に貢献

3

care design (Fuji Millennium)

ケアデザイン(フジミレニアム株式会社)

福祉用具の
レンタル・販売、住宅改修、
ECサイトの運営、イベント企画



カッコよく働いて 業界を盛り上げるチャレンジを

2014年の会社設立までIT企業に勤務していた経験を生かし、業務にペーパーレスやICTの導入を推進するなど、従来の介護業界にはなかった革新的な経営をしてきた藤井伸成社長。社員と共有しているビジョンは「福祉用具事業者としてカッコよく働きたい」「業界を盛り上げていくような新しいチャレンジができる会社になりたい」という2点だ。

オフィスを訪ねると、そのビジョンが浸透していることがうかがえる。オフィスはウッディな内装で、おしゃれな空間。社員たちはキビキビとした動作で笑顔が多く、イキイキと働いてい

る様子が伝わってくる。福山と三原のオフィスは大型モニターでビデオ通話が常時接続されており、いつでも相談や提案ができる環境が整っている。「失敗したとしても、会社にとっての損失は誤差程度」という藤井社長が、社員の声に「NO」と言うことはほとんどない。提案した社員たちは、社長から「行動するかしないかだよ」「成功しても失敗してもマル」という言葉で挑戦を後押しされたと振り返る。

日常業務を行いながら新しいことを取り入れるには、業務を効率化して余白を作ることが不可欠。新たなチャレンジをすることは、それ自体が挑戦で、ステップアップにもなる。仕事を通じて成長したい人には最高の環境だ。



経験を生かしたチャレンジで 個性を発揮して働く先輩社員

動画で歩行分析をして身体機能を見える化するシステム『トルト』の導入を手掛けた川根大空さん。「杖や歩行器をおすすめする際も、動画や点数を見てもらうと納得してもらいやすいんです。そこに僕の理学療法士としての目線を取り入れることで、より価値が生まれると思って提案しました」

今後は、ICT×福祉用具×理学療法士をミックスさせて業務効率の改善や地域の人により喜んでもらえる仕組みを考えてい

きたいという。生活空間に自然になじむ「介護っぽくない」おしゃれな福祉用具の開発・普及にも取り組みたいと意気込んでいる。

もう一人の理学療法士・竹内泰斗さんは現在、自助具に関する取り組みに注力しようとしている。ケガや障害でできなくなった身の回りのことも、道具を使えば再びできるようになる。病院での回復期リハビリテーションという前職で得た知識と経験を、現職に生かそうというチャレンジだ。

また、希望者に認知症検査を行い、たとえ入院前後での数値変化を比較して、支援内容の検討材料とする構想も練っている。

楽しく働いて、仕事も人生も 輝かせたい人を歓迎します

入社後、新入社員は高齢者向けサービスの窓口となる地域包括支援センターを訪ね、福祉用具のレンタル・販売や、住宅改修を提案する営業職を担当する。1ヶ月の座学研修のあと、OJTで業務を学ぶ。

藤井社長が求めるのは、人生を楽しみながら仕事も頑張りたい人。「仕事って約40年もの間、希望者が認知症検査を行い、たとえ入院前後での数値変化を比較して、支援内容の検討材料とする構想も練っている。」

DATA

入社して身につく力



みんなで協力!
目標達成

チームワーク



どんな人とも
相互理解!

コミュニカ



広い視野で
なんでも対応!

変化対応力

求める人物像

- 会社内での調和を大事にしながらも自立した個が持てる人
- 仕事を通じて、なりたい自分を持っている人
- 柔軟性、変化への対応力がある人
- すべての人に平等に愛を持って接することができる人
- あきらめず最後までやり抜くことができる人

採用担当/藤井伸成
TEL.084-926-0139
広島県福山市
東深津町1-11-39



採用サイト



企業サイト

【採用実績校】

- 尾道福祉専門学校
- 倉敷リハビリテーション学院
- 高知リハビリテーション学院
- 穴吹デザイン専門学校
- 神戸医療福祉専門学校三田校
- 崇城大学
- 広島情報専門学校
- 福山大学

学生編集局からのオススメポイント

社長の物腰の柔らかさが印象に残っています。私が新卒採用に関して長期インターンを行うことを提案した際、私の意見を快く受け入れてくれ、「どうやってやるの?」と建設的な議論を持ちかけていただくことがあり、学生の意見を受け止めてくれることに驚きました。

突撃

ケアデザイン

の仕事の秘密



広島大学文学部
阪本 尊徳

広島大学文学部
西平 桃香

ケアデザインの取り組みに
密着取材してきました!

ケアデザインの
魅力が伝わると
うれしいです



福祉用具・レンタル販売事業



課題点

「歩力が弱くなってきて思うように歩けないので、自宅用と外出用に歩くことをサポートしてくれるものがあればとても助かる」と要望があるそうです。



対応

利用者の体力や身体機能に適したものを選ぶことが大切。本人の歩く動作の確認を行って、その状態にあった福祉用具を複数提案するそうです。

利用者の声

歩行器を使って歩くことで歩くのがとても楽になりました。また、コンパクトで軽く、車にのせやすいので、家族も「レンタルすることで生活がしやすくなったね」と喜んでます。



家での不便を工事で解決して
生活の質UP

利用者の声

手すりを設置してもらったことで、大変動きやすくなりました。また、衣服を上げる時にもしんどくなくなったので、身体的な負担がなくなったと感じます。



住宅改修・リフォーム事業



課題点

「トイレの時に衣服を下ろすのに時間がかかり、便座から立ち上がる時に掴まるものがなく、身体的な負担がかかってしまう、何か掴まるものがあれば」と要望があるそうです。



対応

トイレの立ち座りなど実際の動作や使いやすい位置を確認、提示して手すりの取付工事を行ったそうです。手すりは、利用者の負担を減らし、自立した生活を支援するためにも大切なリフォームだと思えます。

新しいWi-Fiのお知らせ

2023年10月から運用スタート!
スマホで見守る「HOMEコネクト」
ネット環境込みでサービス提供

睡眠や脈拍、室温を管理するなど、離れて暮らす高齢者をスマホで見守り、安全を確保するシステム。ITが苦手な高齢者にもサービスが届くよう、ネット環境の設定や通信費も込みでシンプルな料金設定に。申込から利用中の入り口まで窓口をケアデザインに一体化し、ハードルを下げたのが特徴です。

ICTの導入・活用支援事業



課題点

介護業界でペーパーレスやIT化ができていない会社は、ごくわずかだそうです。介護・福祉施設を運営している管理者や経営者からの相談が多く、お手伝いのニーズがたくさんあります。



対応

社内の情報共有ができるグループウェアなどのツールや、介護記録や売上などを管理して業務を効率化する基幹システムを紹介したり、事例を交えながらアドバイスをしているそうです。

利用者の声

介護システムをクラウドにしたのですが、災害時も利用できること、複数の事業所で見ることができるなど、業務の効率化になりました。専門用語や適正な価格など丁寧に説明してくれるのも安心です。



相談を受けてビジョン共有の
手法を提案

イベント支援事業



課題点

企業から、スタッフと会社の10年後の未来像を共有したいとの依頼があったそうです。スタッフとビジョンを共有していく上で、どういった方法がいいかわからずいたとのこと。



対応

一泊二日のホテル合宿が行われました。会社のイメージからは程遠い「単語」をキーワードとして、そこから想像・連想されるものを発散させて、そこから収束させることで新しいアイデアの整理を行いました。

利用者の声

スタッフから、「みんなと会社の未来の共有ができて本当によかった」「こういう方法があるのかと驚きと発見でした」との声があり、チームワークを高めることの助けになっています。



VRオフィスツアー



三原オフィス



福山オフィス

日々働くオフィス環境は、
大切なポイントの一つ。
VRオフィスツアーは
こちらから。

皆が新しいことに
チャレンジしているので、
成長できそうです!

介護事業へのICT導入に
積極的です。
今後の躍進に注目です!

